

## 中山間地域等直接支払制度等検討プロジェクトチーム 現地調査の概要

1. 日 時：平成 21 年 5 月 22 日（金）

2. 場 所：長野県伊那市（長谷 溝口集落、高遠町 山室集落、荒町集落）

3. 参加者：本部長（江藤農林水産大臣政務官）  
 副本部長（吉村農村振興局長）  
 幹事（農村振興局：仲家中山間地域振興課長、雑賀農地資源課長、生産局：福田鳥獣被害対策室長（代理）、林野庁：厨森林総合利用・山村振興室長（代理））  
 ほか、長野県、伊那市及び溝口、荒町両集落関係者

4. 行 程：

午 前	移 動
午 後	現地調査（溝口集落、山室集落、荒町集落） 意見交換（長野県、伊那市、溝口・荒町集落関係者）
	帰 京

5. 地域の概要：

長 谷 溝口集落～ 共同活動への配分を多くし、鳥獣害対策の防護柵設置のための積立てや水路、農道等の維持管理活動等を行う。

高遠町 山室集落～ 組織的な営農活動の発展を図るため、協定への取組を機会に、それまでの耕作組合から農業生産法人を立ち上げる。

高遠町 荒町集落～ 共同活動の中で、牧場へのそばの作付けや、わらび等の山菜の栽培及びその販売に取り組む。

6. 意見交換で出た主な意見：

- ・直払に 10 年取り組んでいるが、役員は変わらず 10 歳年を取った。若い人を育てる取組が必要。
- ・金額よりも継続してもらうことが大事。この制度がないと農地の荒廃が一気に進む
- ・高齢化が進み、若い人がいない中、組織的に取り組むため営農組合を立ち上げたが、直払と活動が連動しており、直払は継続してほしい
- ・金額は（基礎単価の）8 割のままでも、傾斜率も今のままで構わないが、縛りを緩めてほしい
- ・鳥獣害対応については、柵の設置を国の事業で行えば、地元の負担も 1 割ですむため、直払いは柵以外のことに使うことも可能
- ・色々事業があるようだが、とにかく手続きを簡単にしてほしい
- ・中山間地域に対して、農地を守り、鳥獣害を防ぎ、文化も守るといった面に対し、総合的に取り組んでほしい

以 上

## 現地調査の様子

### 【長谷 溝口集落】



### 【高遠町 山室集落】



【高遠町 荒町集落】



【意見交換会（於：荒町公民館）】

